

胃がん検診・ 対策型胃内視鏡検診

(令和2年10月～全市町導入へ)



佐賀県における
胃がん罹患の状況

佐賀県では、1年間でがんと診断された方の数は約7千人(2016年、上皮内がん除く)、そのうち胃がんと診断された方は約千人です。胃がんは全てのがんの中で14%を占め、大腸がんに次いで2番目に多いがんです。

全てのがんの中の胃がんの割合を男女別に見ると、男性は約17%で第1位、女性は10%で第4位となっています(図1)。

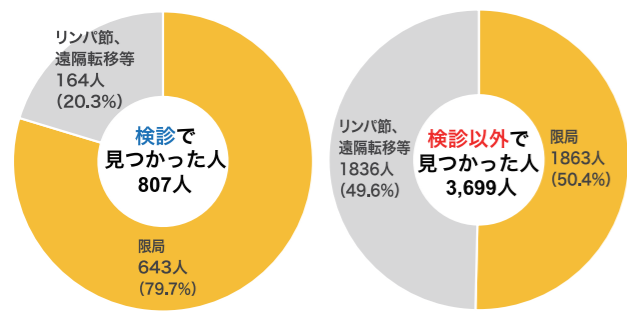
胃がんの罹患率を年齢別に見ると、概ね40代から年を重ねることに高く

胃がん検診について

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われており、国の指針では、問診と胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査が推奨されています(図5)。

胃部エックス線検査は、造影剤(バリウム)を胃粘膜に付着させて撮影し、粘膜の凹凸と形状から診断する方法です。胃内視鏡検査は、細長い管(スコープ)を口又は鼻から挿入し、直接胃の粘膜を観察する方法です。異常がある場合には、病変の一部を採取し(生検)、細胞の検査を行うことがあります。よく初期の胃がんも発見することができ、エックス線に比べ、内視鏡の方

一図四 検診/検診以外で発見された胃がんの進展度 (胃がん、2011～2015年症例、佐賀県)



出典：地域がん登録（佐賀県）より佐賀県調べ

一図五 胃がん検診

胃部エックス線検査(胃透視)

対象年齢：50歳以上(2年に1回)
※当分の間、40歳以上、年1回実施も可

バリウムを飲んで、エックス線撮影

胃内視鏡検査(胃カメラ)

対象年齢：50歳以上(2年に1回)

先端に高性能カメラがついた細いチューブを口や鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸を観察する検査

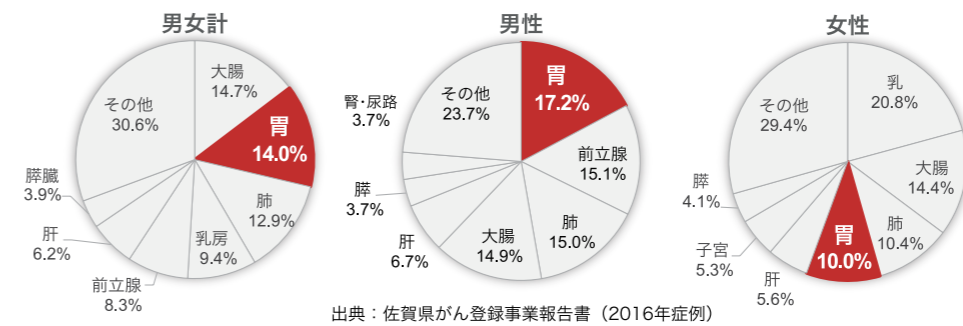


なり、男女別では男性の罹患率の方が高くなっています(図2)。

佐賀県における 胃がん死亡の状況

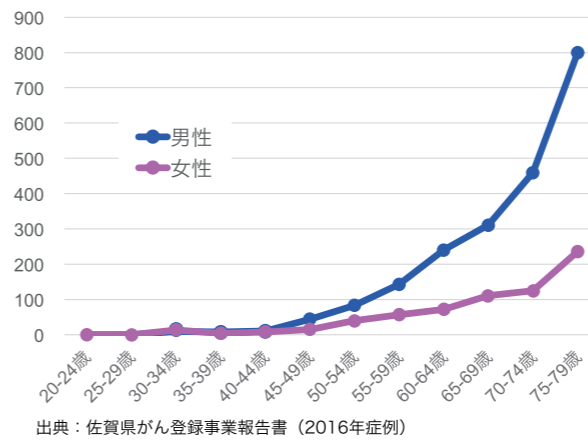
また、佐賀県において、1年間で胃がんで亡くなった方の数は333人(2018年)で、肺がん、大腸がんに次いで3番目に多い状況です。

一図一 部位別のがん罹患患者数の割合



出典：佐賀県がん登録事業報告書(2016年症例)

一図二 胃がんの年齢階級別罹患率(人口10万人当たり)
(2016年、佐賀県)



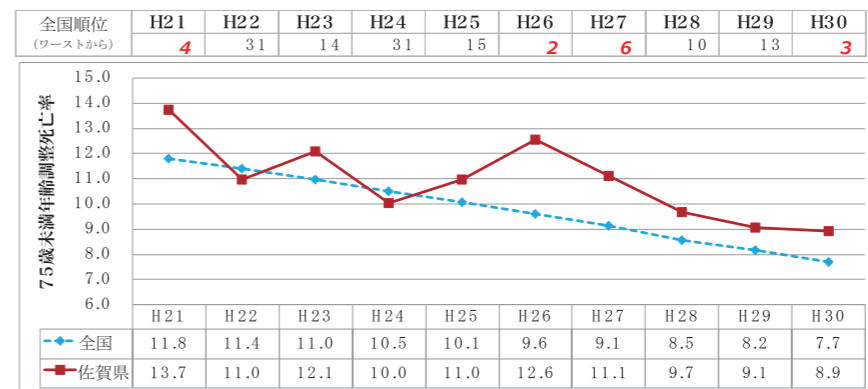
出典：佐賀県がん登録事業報告書(2016年症例)

がん検診を受けるメリット

検診で胃がんが発見された方と自覚症状による受診など検診以外で発見された方の進展度(がんの進行度合い)を比較すると、検診で発見された方の約8割は早期の状態で見つかったのに対し、検診以外で発見された方の約5割はがんが進行した状態で発見されて

佐賀県の胃がんの死亡率(75歳未満年齢調整死亡率)は、2018年に全国ワースト3位、過去5年平均(2013～2017年)でも全国ワースト5位と全国と比較して高い状況で推移しています(図3)。

一図三 胃がんの年齢階級別罹患率の推移



出典：国立がん研究センターがん情報サービス

います(図4)。胃がんの5年生存率は、進行した場合は50%以下となるのに対して、早期(限局)で見つかった場合は90%以上です。こうしたデータからも、定期的ながん検診を受け、早期発見・早期治療することが重要と言えます。

※出典・・・がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010～2011年5年生存率集計報告書

だき、市町が実施する胃がん検診において胃内視鏡検診が受けられる体制作りを行ってきました。

胃内視鏡検診は、2017年度に4市町(多久市、伊万里市、小城市、有田町)から始まり、2018年度は14市町に広がりました。2020年10月からは県内全ての市町で受けることができるようになります。

胃内視鏡検診の申込方法等は市町によって異なりますので、ご希望の方は、お住まいの市町の担当課へお問い合わせください。

市町が実施する 胃内視鏡検診の特徴

- 対象は50歳以上で胃疾患に関連する症状のない方で、対象年齢は市町によって若干異なります(表1参照)。
- お住まいの市町が含まれる地区内(県内8地区)の登録医療機関で受診できます。
- 検診間隔は2年に1度です。
- 胃内視鏡画像を専門医がダブルチェックして結果判定を行います。
- 原則として鎮静剤や鎮痛剤を使用する「鎮静」は行いません。
- 異常がある場合には、病変の一部を

一表一 佐賀縣市町対策型胃内視鏡検診

地区	市町名	対象年齢 (令和3年3月31日時点)	自己負担額	受診できる登録医療機関 (令和2年5月15日現在)
佐賀市	佐賀市	50～64歳の偶数年齢	5,000円	19医療機関(※)
唐津市、東松浦郡	唐津市、玄海町	50～64歳の偶数年齢	3,000円	11医療機関(※)
鳥栖市、三養基郡	鳥栖市、基山町、上峰町、みやき町	50～68歳の偶数年齢	3,000円	18医療機関(※)
神埼市、神埼郡	神埼市	50～58歳の偶数年齢	4,000円	6医療機関(※)
	吉野ヶ里町	50～68歳の偶数年齢	4,000円	
多久市、小城市	多久市、小城市	50～68歳の偶数年齢	3,000円	8医療機関(※)
武雄市、杵島郡	武雄市、大町町、江北町、白石町	50～68歳の偶数年齢	4,000円	14医療機関(※)
鹿島市、嬉野市、藤津郡	鹿島市、嬉野市、太良町	50～58歳の偶数年齢	4,000円	8医療機関(※)
伊万里市、西松浦郡	伊万里市	50～64歳の偶数年齢	4,000円	8医療機関(※)
	有田町	50～66歳の偶数年齢	3,000円	

※登録医療機関は「がんポータルさが」でご確認ください。

URL: <https://www.ganportal-saga.jp/examination/endoscope>



採取し(生検)、細胞の検査を行うことがありますが(この場合、生検については、保険診療として別途請求があります)。



【お問い合わせ先】
佐賀県健康福祉部健康増進課
がん撲滅特別対策室

電話: 0952-25-7491
FAX: 0952-25-7268
メール: kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp